

博物館だより

1991.1
第4号

大津市歴史博物館

ベルリン国立美術館展

「古代芸術の顔」を開催

大津市歴史博物館では、平成三年一月六日から、ベルリン国立美術館・朝日新聞社との共催で、「ベルリン国立美術館展―古代芸術の顔」を開催します。本展は、ギリシャ・ローマをはじめとする古代文明の遺品のなかから、人間の顔を表現した彫刻・絵画の傑作六一点を集めたもので、日本初公開の作品ばかりです。ご期待下さい。



皇帝カラカラの胸像、ローマ時代(212~217年)

ドイツ連邦共和国の旧東ベルリンにあるベルリン国立美術館は、一八三〇年開設の旧プロイセン王立美術館を前身とし、その後の大規模な収集活動によって内容を充実させ、その藏品総数は一五〇万点にも達しています。なかでも、考古遺品のコレクションは世界有数の規模と質をもっているとの定評があります。

本展では、そのなかから最高傑作を選りすぐり、紀元前二六〇〇年から紀元六〇〇年までの間に中近東・エジプト・ギリシャ・ローマでつくられた彫刻・絵画で、人の顔を表現した作品六一点により、古代芸術の人間像の展開をたどろうとするものです。これらの作品は、古代地中海文明の芸術の結晶ともいえるものであり、西洋美術の原点となったものです。その意味で考古学的興味はもちろん、西洋美術史においても意義ある展覧会といえるでしょう。

展示作品は、すべて日本初公開の作品ばかりで、有名な古代ローマ皇帝カラカラの胸像も展示されます。世界史や西洋美術を学んでいる学生・生徒のみなさんには、ぜひ一度観覧していただきたい展覧会です。

会期は、平成三年一月六日から二月十一日まで。ただし、一月十四日、十六日、二十一日、二十八日、二月四日は休館いたします。

主催は、大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・ベルリン国立美術館・朝日新聞社。また、開催にあたっては、ドイツ連邦共和国大使館・滋賀県・滋賀県教育委員会・NHK大津放送局の後援をいただき、KLMオランダ航空の協力を得ました。

観覧料は、一般八〇〇円、大学生・高校生六〇〇円、中学生・小学生四〇〇円。一五人以上の団体には、団体割引もあります。

主な展示作品

ベルリン国立美術館展は、中近東美術、エジプト美術、古代ギリシャ・ローマ美術、初期キリスト教・ビザンチン美術の四部門から構成されています。主な展示作品は、次のとおりです。



ユリウス・カエサル像



司教アバ・アブラハムの肖像

中近東美術では、まず、南メソポタミア地方のシュメール人の肖像彫刻の遺品である男性小像頭部（紀元前二一四〇年頃）があります。都市ラガシユの王グデアの像といわれ、高度な技術性をうかがわせる彫刻です。また、パピロニア王が臣下に領地を与える光景をレリーフ（浮彫り）とした、封土授与公文碑（紀元前八世紀末）も、パピロニア彫刻の数少ない遺品の一つとして貴重なものです。

エジプト美術では、中王国のアメンエムハト三世像頭部（紀元前一八四〇年頃）があげられます。それまでの古い時代の人間の理想像的なものをめざす表現から、個性的・写実的表現への芽ばえをうかがわせる作品とされています。

古代ギリシャ・ローマ美術には、数々の傑作がありますが、あえてあげるならば、著名なローマ皇帝のユリウス・カエサル（ジュリアス・シーザー）像（一世紀）や、皇帝カラカラの胸像（二一二〜二一七年）があります。そこには性格描写といったものがうかがえ、知的でシニカルなカエサル、決断力と厳格さを示すカラカラといった、歴史上の人物の人間性が彫刻を通じて感じられ、われわれを古代のロマンにさそってくれます。

初期キリスト教美術では、司教アバ・アブラハムの肖像（五九〇〜六〇〇年）があります。南エジプトで発掘された素朴な板絵ですが、これはイコンとよばれる聖者の肖像画で、肖像がこの時代には人間性の表現から崇拜の対象へとかわっていったことを良く示している貴重な作品です。

このほかにも、様々な古代地中海世界の人間像の表現を伝える作品群が展示され、興味つきないものです。

開館記念特別展終わる

待望の大津市歴史博物館が、平成二年十月二十八日に開館いたしました。開館および記念特別展「仏教文化の聖地・大津」の一般公開に先立ち、前日の二十七日に開館記念式典が、当館エントランスホールで開催されました。

当日は国会議員・国・県・市・博物館関係者・所蔵者・各種団体長・寄贈寄託者など三百四十三名のご臨席のもとで挙行。式典は上杉政男市教育長の開会の辞





ではじまり、山田豊三郎大津市長の式辞、北川直三市議会議長、野口浩市教育委員長の挨拶、そして稲葉県知事(代理上原恵美政策監、国會議員代表山下元利氏、県議會議長(代理山崎得三朗県議員)、山田恵諦天台座主、姉妹都市のドイツ・ヴェルツブルク市長ヴェーバー氏から祝辞をいただきました。なかでも山田天台座主は「みなさんの協力で大津市歴史博物館が完成したことは、滋賀県だけでなく全国に歴史の重みを知らせることになるでしょう。歴史は心を育てる一番大切な泉、博物館発展のため私も力を添えていきたい」とはなむけのことばがありました。

式典のあと常設展示室入口前で、山田市長らの手によってテープカットが行なわれたあと、出席者が常設展「大津の歴史と文化」と開館記念特別展「仏教文化の聖地・大津」を観賞されました。そのあと大津プリンスホテルで祝賀会が開催されました。

十二月二日までの会期中の観覧者は、二万六千三百人の多くを数えました。

収蔵品紹介③

毛利秀包感状

慶長五年(一六〇〇)九月一八日付 紙本墨書
縦三一・二センチ 横四九・二センチ

この文書は、慶長五年(一六〇〇)、関ヶ原合戦を前に戦われた大津籠城戦が終わって三日の後、羽柴内記から藪九右衛門に宛てて出した感状です。羽柴内記は、籠城戦で西軍として城攻めを指揮した毛利元康(元就の子)の弟・毛利秀包(ひでたけ)のことで、藪九右衛門はその秀包の家臣です。

内容は、藪九右衛門が、大津籠城戦のさなかの九月十三日、本丸の鉄の門の前で数カ所に手傷をうけながらも比類ない戦功をあげたとして、その戦いぶりを賞し、五〇〇石の加増を認めたものです。大津籠城戦のありさまをうかがい知ることのできる数少ないもので大変貴重な資料といえるでしょう。

大津城は、天正十四年(一五八六)頃、豊臣秀吉が坂本の城をとりこわし、現在の浜大津の湖岸に築いた城で、関ヶ原の合戦の際には、東軍(徳川家康軍)についた武将・京極高次が城主でした。城を包囲するのは、西軍の毛利元康を総大将とする一万五千、それに対して城に籠る高次軍はわずかに三千でした。高次は九月四日、籠城戦の態勢をととのえるため、兵糧米や塩・味噌・醤油を確保し、城下をみずから焼き払い、背水の陣をしました。西軍の攻撃は九月八日から始まりましたが、籠城軍の守備は固く、西軍は長等山に大砲をひっぱりあげて、城めがけて砲撃しました。



毛利秀包感状

(大津籠城戦のありさまを今に伝える)

しかし九月十三日になって、西軍が城の外堀を埋めたことから、籠城軍も劣勢となり、三の丸、さらに二の丸が落ち、いよいよ残るは本丸だけとなりました。攻撃が始まって六日めのこと、この日が籠城戦一番の激戦だったようです。

京極高次が大津城を明け渡したのは、その二日後の十五日、まさに、その日の早朝から、関ヶ原において東西両軍の合戦の火蓋がきられ、周知のように東軍の大勝利となったのです。

なおこの毛利秀包感状は、京都大学名誉教授の林屋辰三郎氏から寄贈いただいたもので、常設展示室二階「近世」のコーナーで陳列しています。

土曜講座を開催

歴史博物館では、大津の歴史と文化に親しんでいた
 だこうと、平成三年二月から毎土曜日に「土曜講座」
 を開催します。二月・三月の日程は、次のとおりです。

◇スライドで見る大津の遺跡

(日時) 二月十六日、三月二日、十六日

午後二時～四時

発掘の最新情報をもとに、集落跡・古墳などの遺
 跡の様々をスライドで紹介します。講師は、本館
 学芸員。

◇古文書で読む大津の歴史

(日時) 二月二十三日、三月九日、二十三日

午後二時～四時

常設展示室の展示資料をテキストに、古文書を読
 みながら大津の歴史をさぐります。講師は、本館
 学芸員。

以上の二講座とも、定員は三〇名。受講ご希望の方
 は、ハガキに住所・氏名・電話番号・年齢をご記入の
 うえ、大津市歴史博物館(大津市御陵町二―二)まで
 お申し込み下さい。申込〆切は二月十日。申込多数の
 場合は抽選とさせていただきます。

●歴史博物館への寄贈

このほど開館を記念して疋田龍男さん(中庄一丁目)
 から父疋田春湖画伯の大作「石山寺風景図」、藤井信一
 さん(本堅田二丁目)から永田表翠画伯の「秋葉」、
 中野芳樹画伯の「蓬来山」、疋田春湖画伯の「山水之
 図」の三幅をそれぞれ寄贈していただきました。

博物館日記抄

平成2年9月
 平成2年12月

9月4日	国会図書館・東京国立博物館資料写真撮影
5日	第一回博物館協議会を開催
6日	堺市博物館来館
14日	村上法照氏(善通寺市金倉寺)来館
19日	台風19号来襲のため三名宿直
20日	石川陸郎東京国立文化財研究所主任研究官 来館
21日	西宮市大谷美術館来館
25日	北角円澄氏(西明寺)来館
10月1日	今日からコンパニオン四名(受付案内・ミュー ジウムショップ・常設展案内等)出勤
8日	中京テレビ取材班来館
9日	松田展子氏(西宮市頰川美術館)・テレビ 朝日來館
12日	KBSVTR「歴史博物館開館をひかえて」
16日	四日市市教育委員会來館
20日	中国牡丹江市副市长一行來館
24日	アメリカのクリブブランド美術館ウィルソ ン氏來館、報道機関に常設展を初公開
26日	式典関係打合わせ、連日午前前三時が続く。 ドイツのベルリン国立美術館のベルガモン 博物館長マックス・クンツェ博士來館
27日	午前十時から開館記念式典、テープカット、 披露のあとレセプションを開催
28日	一般公開 一日に千五百人を越える
30日	午前十一時三十分からNHK中継
31日	成蹊女子短期大学・福岡県築城町・西教寺 一行各來館

1日 園城寺福家俊明長吏來館

9日 本日0時すぎに観覧者数一万人を超える、
大津市長から花束・記念品を伊丹市谷本友
子さんに贈呈。近畿都市学会(約百名)が
講堂で開催される

10日 開館記念講演会(講師林屋辰三郎京都大学
名誉教授)を開く。大谷大学文学部一行來
館

11日 一日最高観覧者千六百五十七人を数える

滋賀県議会文化体育特別委員会委員、県都
市監査委員各來館

17日 特別展開催記念講演会(講師清水善三京都
大学教授)を開く

19日 クリーブブランド美術館カンニンガム博士來
館

21日 滋賀県地方史家連絡会一行來館

23日 近畿二府四県文化財主管課長來館

29日 田川三重県知事・稲葉県知事來館
開館特別展の幕を閉じる。総観覧者数二万
六千三百三人。文化史学会一行來館

12月2日 六千三百三人。文化史学会一行來館

19日 ベルリン国立美術館展の搬入はじまる

あけましておめでとございます。新年早々から企
画展「ベルリン国立博物館展」を開催します。
本年もよろしくお願ひいたします。

博物館だより 第4号

発行日 平成三年一月四日
 編集 大津市歴史博物館
 発行所 大津市御陵町二―二
 大津市歴史博物館
 電話(〇七七五)二一―二一〇〇代